

【添付資料⑥】 2023 工程

工程

降水20mm以上（東京都2015年年間24日）堆積物流入出排水障害注意日前後の堆積物処理日程比較					工程計	変化値
比較範囲⇒	雨水枥300角	U字溝180SS	U字溝300SS			
新技術	条件	雨が止んだ後にグレーチング上の堆積物を周辺堆積物と同時処理、処理量強化日年24日			240日	80%
		平時は周辺ゴミと同等の清掃だが20mm降水日にはゴミが多く集まるため1人工専属にした。 1人工1日×24回×10年=240日（尚、堆積物量は新技術、従来技術とも同等とする）				
従来技術	条件	バリケードとガードマン2人で落下予防安全確認、グレーチングの開閉で汚泥化堆積物3人で汚泥化堆積処理して排水障害を防ぐ年24回			1,200日	
		1人工1日換算では5人工を5日と見る×1年×24回×10年=1,200日				
降水10mm以上（東京都2015年年間43日）薬剤濃度希釈回復で薬剤効果継続と蚊繁殖無しの比較						
比較範囲⇒	雨水枥300角	U字溝180SS	U字溝300SS	工程計	変化値	
新技術	条件	蚊の繁殖が不可能な為投入不要			0日	100%
		0日				
従来技術	条件	泥だまりに投入した薬剤は降水があるたびに希釈される、降水10mm以上で投入された薬剤成分は粗流れ出る為、繁殖抑制が出来る濃度をその都度回復し繁殖不可能状態と同等として比較した。			430日	
		降水10mm以上1年43回が薬剤を投入日×10年=430日				